

足立区議会公明党

一般会計	賛成	修正案 反対
国民健康保険特別会計	賛成	—
介護保険特別会計	賛成	—
後期高齢者医療特別会計	賛成	—
老人保健医療特別会計	賛成	—

世界的な景気後退は我が国の実体経済に深刻な影響を及ぼし、当区の財政を取り巻く状況は、これまで以上の厳しさが予想される。そのため、将来を見据えた財源対策として、区民税等の徴収対策、未利用地の有効活用及び区民との協働を一層促進していくことが重要である。

今回の予算で、区は学力向上や待機児童の解消等を図る「子ども施策」、若年者健診事業等を実施する「くらし施策」等を重点プロジェクトの四つの施策に集中的に行財政資源を配分した。これらの施策は区民に直結した取り組みと考え、評価するものである。

しかし、本委員会では指摘されたように、新田・北千住地域を



二 昭 委 員

ははじめとする待機児童対策や、社会構造の変化に即した女性・健康保険に関する企業支援対策は急務であり、更に新線開通による沿線周辺の整備、特に舎人公園の充実を進めべきである。

今回、介護保険料の改定にあつては、保険料が据え置きとなつたことは評価する。また、急激な経済・雇用環境の悪化を踏まえ、「足立区緊急経済対策」として予算を示したが、今後も景気の動向を注視し、迅速な対応をすべきと考える。

また、今回、制度改定があつ

上につながる学習環境の整備等の重要施策の着実な実施、区援助団体等への助成金の適正化、東京芸術センターの有効利用補助第25号線の早期全面開通と周辺のまちづくりの推進、舎人公園の魅力アップ等にも全力で取り組んで頂きたい。

定額給付金の執行では、区内経済の活性化に寄与する工夫と公平・公正な支給を強く求めるとともに、振り込め詐欺等の犯罪の防止を要望する。

最後に、我が党委員の指摘事項及び提案等を尊重し、その実現に努力されることを望むとともに、予算の執行においても、議会の信頼関係を損なうことのないよう強く求める。

足立区議会自由民主党

一般会計	賛成	修正案 反対
国民健康保険特別会計	賛成	—
介護保険特別会計	賛成	—
後期高齢者医療特別会計	賛成	—
老人保健医療特別会計	賛成	—

一般会計の総額は、2千333億円で前年度比7.3%の増額であるが、主要因は学校の改築や道路整備等の公共投資、扶助費等の社会保障費であり、今後、更に事業の選択と集中が求められる。

全体的には、この不況の中で積極型予算であるが、100億円を超える基金を取り崩す等、今後の区政運営は更に厳しさが増すと想定される。

事業について、昨年は新聞社の調査で行政改革や行政サービスの調査において高い評価を得ており、今後も更なる発展を期待する。質疑では、区と議会の信頼関係に関する指摘があった。議会への情報提供の遅れが生じている。執行機関の役割として、議会への説明責任を果たすことが求められる。今後、議会との信頼



正 員 委

申請過程に見られるように、区からの諮問であることを考える。もとより誠意ある対応ができたのか。答申の意味と重さを認識し、将来への負担につながらない運用を要望する。

また、地球にやさしい環境施策の推進、子どもたちの学力向上

100年に一度の経済危機というが、構造改革が危機を深刻にし、区民の暮らし、雇用、営業に襲いかかっている。区内倒産は年間94件、負債総額197億円。政府のセーフティネット保証融資申込は4か月で2千814件のハイペース。生活保護申請は12月から1月末で224件受理、平成19年度1年分を上回り、住民税の納入状況も大きく落ち込んでいる。原因は、失業の増大等である。給食費の未納が増え、卒業遠足にも行けない等、経済の悪化が子どもたちにも影響している。平成21年度予算案は、暮らしと雇用、中小企業を支える大規模で緊急の対策が求められていた。

しかし、予算案は159億円、7.3%増とい

特別の 委員会 予算論 (要旨) 予委討

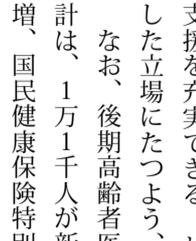
現在、我が国に不況の嵐が吹き及んでいる。派遣社員や多くの非正規雇用者が製造業を中心に失業し、その流れは正規模雇用者まで及んでいる。特に、中小企業が苦況に追い込まれ、個人消費は、原油や穀物高騰等、更に家計を圧迫するものと考えられる。

また、医療、介護、年金等にも国民は安心が感じられず、今の政権下では、明るい希望を見いだせない状況である。

大変厳しい情勢の中で編成された平成21年度の予算案であるが、区の置かれた現在の状況を勘案し、3年後を見据えて、子ども

が、ほとんどが区債の一括償還、道路の新設等、既定の計画を予算化したもので、100億円超の基金を取り崩すというが、新規事業を起こして区民生活を支えるわけではない。8億円の雇用対策というが、大部分が既存計画の事業であり、新たな区独自事業はわずか1千万円、消費拡大策は2億円程度、直ちに言うべき緊急融資は先延ばし。

その一方で、目標や活用計画等が明確でない二つの基金に7億円積み立てる等、力の入れ方も優先順位も間違っている。緊急入浴券の発行、子育てパ



三 子 委 員

スポーツ事業参加店支援、火災警報器設置や家具転倒防止器具取付事業の抜本的な拡充、子ども施策の充実、保育園の増設等、我が党は予算修正案を提案した。年間予算の0.5%増額だけで、28の新規・拡充事業を行うことができ、区民の願いに応え、生活支援を充実できる。ぜひ、こうした立場にたつよう、強く望む。

なお、後期高齢者医療特別会計は、1万1千人が新たに負担増、国民健康保険特別会計も多くの区民が負担増になる。こんな時期こそ激変緩和や負担軽減を行うべきで、認められない。

区長は、区民の痛みを共有していくというなら、それに見合う対策を講じ、自治体の長として、真に区民の暮らしを守る立場にたつよう求める。

その中で、副担任講師の配置、学力向上対策推進事業、地球温暖化対策の推進、3R啓発・資源化推進事業、生活安全推進事業、美化推進事業、産学公連携促進事業、大学連携・協働等の施策が盛り込まれた。

また、緊急経済対策について



也 員 委

最後に、医療・福祉・教育・安全部門での雇用創出、保育ママへの同分野の研修費助成制度の充実、就労弱者への新たな雇用確保策、桜だけでなく区の花チューリップ等を生かした花街づくり、ゲリラ豪雨対策、ゲートキーパー研修への参加、育英資金の拡充、ケースワーカーの安定確保、教員の時間外勤務のバックアップ体制の確立、不登校対策、区独自のエコバッグの推進、区主催のマラソン大会の実施等、指摘する。

最後に、医療・福祉・教育・安全部門での雇用創出、保育ママへの同分野の研修費助成制度の充実、就労弱者への新たな雇用確保策、桜だけでなく区の花チューリップ等を生かした花街づくり、ゲリラ豪雨対策、ゲートキーパー研修への参加、育英資金の拡充、ケースワーカーの安定確保、教員の時間外勤務のバックアップ体制の確立、不登校対策、区独自のエコバッグの推進、区主催のマラソン大会の実施等、指摘する。

足立区議会民主党

一般会計	賛成	修正案 反対
国民健康保険特別会計	賛成	—
介護保険特別会計	賛成	—
後期高齢者医療特別会計	賛成	—
老人保健医療特別会計	賛成	—

日本共産党足立区議団

一般会計	反対	修正案 賛成
国民健康保険特別会計	反対	—
介護保険特別会計	賛成	—
後期高齢者医療特別会計	反対	—
老人保健医療特別会計	賛成	—